



ノーベル文学賞 川端康成を中国・韓国人観光客に PR 外国人留学生らが翻訳した川端康成文学館パンフを発行

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、地元茨木市との連携事業の一環として、茨木市ゆかりのノーベル文学賞作家・川端康成の事績を紹介する市立川端康成文学館のパンフレット等を中国語と韓国語に翻訳し、中国語版については7月1日から配付を開始します。

この連携事業は、近年、全国的に増加傾向にある中国や韓国からの観光客に文学館に足を運んでもらおうと企画したもので、このうち中国語版は、追手門学院大学で留学生向けに日本語を教えている基盤教育機構の立堀尚子講師と中国人留学生 16 名が授業の一環で翻訳を行いました。

留学生たちは、中国でも有名な川端康成が幼少期を茨木市で過ごしたということに驚いた様子で、略歴をはじめ館内に展示している生家の 20 分の 1 模型の解説文、旧制茨木中学校(今の府立茨木高校)時代に文学を志すことを書いた手紙の紹介文などを意欲的に翻訳してパンフレットに盛り込みました。完成した中国語版パンフレットは変型版観音折で 1,000 部発行し、7月1日から文学館をはじめ茨木市内の公共施設でも配付することにしています。

韓国語版は授業とは別に追手門学院大学の韓国人留学生が翻訳を行ったもので、当面は館内限定で簡易な印刷物として配付し、来年以降パンフレット形式での発行を検討するという事です。

茨木市によりますと、市内の観光施設において中国語および韓国語に翻訳したガイド資料を作成するのは初めてだということで、文学館館長は「川端康成は世界的に知名度が高く、中国では特に『雪国』の人気の高い。中国からの入館者も増加傾向にあり、中国語版パンフレットを機により多くの中国人観光客に訪問してほしい」と期待を語っています。

留学生たちが関わって作成したパンフレットをぜひ取材くださいますようお願いいたします。

【ポイント】

- 追手門学院大学と茨木市との連携で川端康成文学館の中国・韓国語版パンフレットが完成。
- 茨木市の観光施設では中国語および韓国語版のガイド資料の作成は初めて。
- 中国人来館者は増加傾向であり、更なる増加に期待も。

【パンフレット概要】

① 中国語版

型式：変型版フルカラー観音折 8 ページ

部数：1,000 部発行

配付先：川端康成文学館および茨木市内公共施設

② 韓国語版

型式：A4 版プリント(予定)

配付先：川端康成文学館において配付。

来年以降中国語版と同型のパンフレットを検討。



中国語版の中間

この資料の配付先：北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立